

令和4(2022)年 No.1242

広報 **いせはら**

Public Relations Paper

4月1日

ISEHARA

主な記事

- 2 令和4年度施政方針
- 4 5 令和4年度予算の概要
- 8 総合運動公園の「自由広場」がリニューアルしました

みんなで守ろう 交通ルール

子どもをはじめとする 歩行者の安全確保

◆通学路の運転は十分に注意◆横断歩道を渡ろうとしている人がいたら、必ず一時停止を

4月6日(水)～15日(金)は
春の全国交通安全運動

二輪車の 交通事故防止

◆ヘルメットやプロテクターを着用し、夜間は反射材を活用◆悪天候時は利用を控える

歩行者保護や 飲酒運転根絶などの 安全意識の向上

◆飲酒運転は絶対にやめる◆加齢などで運転に不安がある人は、運転免許の自主返納を

自転車の 交通ルール遵守の 徹底と安全確保

◆マナーを守って安全な利用を◆万一の事故に備えて自転車損害賠償責任保険に加入する

4月10日は「交通事故死ゼロを目指す日」です

警察庁によれば、昨年の全国における交通事故死者数は2636人。統計が残る昭和23(1948)年以降の最小人数を記録しました。感染症拡大による外出自粛や車の安全性向上などが影響していると考えられています。

しかし、県内の死者数は142人(前年比2人増)で初めて全国ワーストになるなど、引き続きドライバーと歩行者の双方が交通安全意識を強くもつことが求められています。

4月は入学、入園の季節。交通安全指導員の北川昇さん(上粕屋)は「春はポカポカ陽気につられて、ついウトウトしがち。でも、居眠り運転は言語道断。取り返しのつかない悲劇を生まないため、一層気を引き締めなければなりません」と話します。

子どもたちが不慣れた通学路で事故に巻き込まれないよう、車や自転車などを運転する際は十分に気を付けましょう。

☎市民協働課 94-4715

市内における交通事故件数の確定値(令和3年)

	1～4月	5～8月	9～12月
発生	81	83	99
死者	1	0	0
負傷者			
計	89	104	123
重	2	1	5
軽	87	103	118

伊勢原警察署調べ※高速道路内での事故は除く

※写真撮影のため、一時的にマスクを外しています